



「38億年の命のリレー」イラスト・山口まさよし 私たちが、祖先から命を受けついで次世代に伝えていく存在であることを示しています



小象の「元気」を育てよう

生活習慣病防止へ！

市民と医療者の会



闘病の主役は市民

助言、協力得て根気強く

市民から見た医療は、どんなを一番知っているはずなの専門の医療機関を紹介してくは、実は患者本人です。医師は、それがかりつけ医で、医療の進歩は目覚ましく、は限られた時間のなかで症状を。日ごろから、かかりつけ多くの病気が治るようになりや検査データなどもとに診察をしなければならず、正確な診断を得るためにも患者の十分対応できない病気がある病状などの情報を簡潔に伝えました。ただ、医療だけではな診断を得るためにも患者の喫煙などに起因する生活習慣病には、医療に加え、患者自身

問題として、生活習慣を含め病状と向き合うことが可能となり。市民と医療とのかわり方、医療の知識や情報は圧倒的に医療者が持っています。医療者は医療者にお任せで市民は医療者の指示に従ってればよいとの考え方もあります。しかし、患者の病状、悩み

市民と医療とのかわり方、医療の知識や情報は圧倒的に医療者が持っています。医療者は医療者にお任せで市民は医療者の指示に従ってればよいとの考え方もあります。しかし、患者の病状、悩み

市民と医療とのかわり方、医療の知識や情報は圧倒的に医療者が持っています。医療者は医療者にお任せで市民は医療者の指示に従ってればよいとの考え方もあります。しかし、患者の病状、悩み

せなくなり。医療は貴重。生活習慣病を予防・コントロールし、健康な日々を送るため基本となるのは、生活習慣の改善で、その主役は当事者である市民です。医療者の助言と協力を得て、根気よく取り組みましょう。

生活習慣病には、食事・運動など日常生活全般にわたる取り組みが必要です。多職種医療者の協力を得て、生活習慣病のコントロールと生活習慣の改善に取り組みしましょう。以上が、一病息災を目指して悪戦苦闘している一市民から見た医療の風景です。

以上が、一病息災を目指して悪戦苦闘している一市民から見た医療の風景です。



理事 古市 雅雄